
開講科目名：知的財産法研究（B）（2単位）
開設年次：1年 2年
開設学部：法学研究科修士課程法学専攻
担当者：瀧 麻依子

《授業の概要》

2019年度、本講義は犬山キャンパスで開講される。

《講義の概要》

知的財産法は財産的情報の保護に関する法であるが、本講義ではその中から特許法・著作権法を中心に講義する。製薬や自動車から金融まで幅広い産業に関係する特許法、レポートの作成・インターネットなど私たちの毎日の生活にも密接に関係する著作権法など、知的財産法は現代社会に重要な関わりを持っている。本講義では特許法や著作権法の基本的な理念や考え方について説明をするとともに、これからの知的財産法のあり方を一緒に考えていく予定である。

《講義の進め方》

講義は授業計画表の通り進行する予定であるが、内容は必要に応じて変更することがある。

1. イントロダクション 知的財産法総論
2. 著作権法 (1) 著作物性I
3. 著作権法 (2) 著作物性II・著作権の主体
4. 著作権法 (3) 著作者人格権
5. 著作権法 (4) 著作権I
6. 著作権法 (5) 著作権II
7. 著作権法 (6) 救済・著作権法全体のまとめ
8. 特許法 (1) 特許権の客体
9. 特許法 (2) 特許権の権利の主体
10. 特許法 (3) 権利取得の手續と審判・審決等取消訴訟
11. 特許法 (4) 特許権の効力I
12. 特許法 (5) 特許権の効力II
13. 特許法 (6) 救済
14. 特許法 (7) 特許法のまとめ
15. まとめ 知的財産法全体のまとめ

《質問への対応》

質問には随時対応する。

《テキスト》

講義の際には最新の改正を反映した条文を持参すること。手持ちの六法が改正に対応していない場合には、e-Gov（法令データ提供システム）や特許庁のウェブサイト、その他インターネット上で最新の条文を入手することができる。それらをプリントアウトやダウンロードするなどして講義中はいつでも参照できるようにすることが望ましい。

《参考書》

◆知的財産法全体を概観するテキスト（しかし、これ1冊でも基礎的な知識は十分に学習することができるものである）

愛知靖之・前田健・金子敏哉・青木大也『知的財産法』（有斐閣、2018年）

平嶋竜太・宮脇正晴・蘆立順美『入門知的財産法』（有斐閣、2016年）

◆章末に問題演習も用意されており、基礎的な知識を確実にするためのテキスト

駒田泰土・潮海久雄・山根崇邦『知的財産法I 特許法』（有斐閣、2014年）

駒田泰土・潮海久雄・山根崇邦『知的財産法II 著作権法』（有斐閣、2016年）

◆各論点に関する論文や判例なども紹介されており、より詳しく学ぶためのテキスト

島並良・上野達弘・横山久芳『特許法入門』（有斐閣、2014年）

島並良・上野達弘・横山久芳『著作権法入門〔第2版〕』（有斐閣、2016年）

